

アフリカ最西端の国々・4カ国を行く 13日間

出発日限定・特別企画	
旅行期間	1月31日(土)～2月12日(木)
旅行代金	979,000円
一人部屋利用追加代金	79,000円

◎利用予定航空会社：ターキッシュ・エアラインズ
◎添乗員：羽田空港より全行程同行します。
◎食事：朝食9回・昼食8回・夕食10回(機内食除く)
◎ホテル：スタンダード～ファーストクラスの厳選ホテル。詳しくは、お問い合わせ下さい。
◎海外空港諸税：旅行代金に含まれます。
◎旅券残存期間：帰国時6カ月以上
◎旅券査証欄空白：5頁以上(見開き2カ所含)
◎最少催行人員：10名(最大18名)

◆旅行代金以外に下記費用を別途申し受けます◆

◎羽田空港使用料・保安サービス料：3,050円
◎国際観光旅客税：1,000円
◎燃油サーチャージ目安：78,000円(2025年6月現在)
◎査証代：モーリタニア(現地取得55ユーロ)、ガンビア(2,976円)、カーボベルデ(現地取得53.5ユーロ)※査証代は変更となる場合もございます。
◎査証取得代行手数料：7,150円(税込)
◎査証写真：カラー3枚(4.5X3.5cm)

★黄熱病予防接種証明書(イエローカード)が必要。

◆モーリタニア・イスラム共和国◆

面積は日本の3倍。そのうち三分の二は砂漠の国。海岸部は沿岸流の影響で温暖ですが、国土の大半はサハラ砂漠の高温乾燥。そのため、大砂丘、オアシス、溶岩地帯など変化に富んだ景観が見られます。1960年フランスから独立。鉱業と水産業が主要産業で、モーリタニア産のタコは、日本にも多く輸出されています。

◆セネガル共和国◆

アフリカ大陸最西端に位置する国。交易の要衝地であるため、15世紀以降、欧米列強による奪い合いとなってきたが、1815年にフランスの植民地に。その後、1960年に独立。

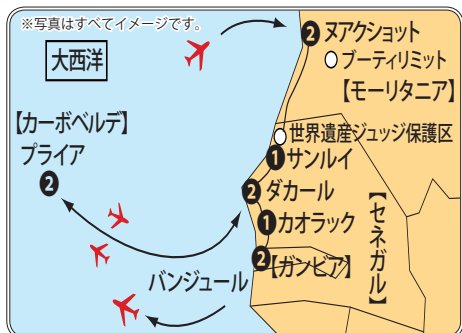
◆カーボベルデ共和国◆

アフリカ大陸から遥か600kmの大西洋上に浮かぶ、大小15の島からなる国。1460年代には無人の群島だったこの国にポルトガルが奴隷貿易の基地を設けた時から歴史の舞台に登場します。その後、大西洋航路の補給地及び植民地としてポルトガルの支配下に置かれていましたが、1975年に独立。ヨーロッパとアフリカが混じった独特のクレオール文化が特徴。

◆ガンビア共和国◆

アフリカ大陸最西端セネガルの国土の中の細長い小国。このような不自然な形は、19世紀以来イギリスとフランスが対立し続けたことが原因。1960年、フランスの影響が強かった地域がセネガルとして独立。1965年、イギリスの影響が強かった地域がガンビアとして独立しました。現在は、ガンビアカ河口の大西洋岸は欧米からの観光客が訪れるリゾート地として発展しています。セネガルのゴレ島と並び、西アフリカにおける奴隷貿易の拠点となっていたジェームズ島は世界遺産に指定されています。

※場所柄、ホテルの設備は簡素なものとなります。浴室はシャワーのみが基本となり、一斉にシャワーを使用すると一時的にお湯の出が悪くなります。
※ポーター不足や不在が多い地域のため、お客様ご自身でお荷物をお運びいただく場合もございます。
※陸路の国境越えは、ご自身でスーツケースをお運びいただいたり、手続に時間を要する場合がございます。
※発展途上の国々のため、未舗装の道路移動が多くなります。また、今回のご旅行では、お一人様ご二席お使いいただける大型バスはございません。
※モーリタニアでは、アルコール類の持ち込みは禁止されています。



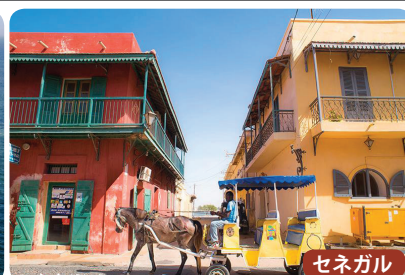
都市名	スケジュール
1 東京	■夜、羽田空港より、空路、イスタンブールへ。
1 イスタンブール	■早朝、着後、ラウンジでご休憩下さい。 ■午後、空路、モーリタニアの首都ヌアクショットへ。〈機中泊〉 日 日 日
2 ヌアクショット	■夕刻、ヌアクショット着。 ■着後、ホテルへ。〈ヌアクショット泊〉 日 日 日
3 ヌアクショット滞在(ブーティリミット)	■午前、ヌアクショットの市内観光。ミナレットが美しい大モスク○、国立博物館○、マーケット○、漁港○にご案内します。 ■午後、19世紀よりモーリタニアの宗教の中心地ブーティリミットへ。城塞○、市場○など。途中、砂丘の光景もご覧いただけます。〈ヌアクショット泊〉 日 日 日
4 ヌアクショット(ジョージ国立保護区)	■朝、国境のセネガル川に造られたディアマ・ダムへ向かいます。 ■午後、セネガル入国後、世界自然遺産・様々な渡り鳥の楽園ジョージ国立鳥類保護区に向かい、ボートにてバード・ウォッチングをお楽しみいただけます。 ■午後、植民地時代の首都サンルイへ。〈サンルイ泊〉 日 日 日
5 サンルイ(レットバ湖)ダカール	■午前、植民地時代の建物が残るサンルイ島(世界遺産)の観光へ。本土と島を結ぶフェデル橋○、旧総督府○、大聖堂○にご案内します。 ■午後、セネガルの首都ダカールへ。途中、気象条件によっては、湖面がピンク色になることで知られるレットバ湖○にご案内します。〈ダカール泊〉 日 日 日
6 ダカール滞在	■終日、ダカール市内及び、近郊の観光。中央駅○、アフリカ大陸最西端のアルマディー岬○、船で世界遺産の島ゴレ島の観光。奴隷の家○、カテドラル○にご案内します。〈ダカール泊〉 日 日 日
7 ダカールプライア	■午前、ご休憩下さい。 ■午後、空路、カーボベルデ共和国・最大の島サンティアゴ島にある首都プライアへ。〈プライア泊〉 日 日 日
8 プライア滞在(サンティアゴ島)	■午前、首都プライアの観光。町の中心プラトール地区にて、中央広場○、教会○、大統領官邸○、市場○などをご案内いたします。 ■午後、サンティアゴ島の観光へ。ポルトガル人によって最初に建設された町シダーデ・ヴェーリャ(世界遺産)を訪れ、レアル・デ・サン・フェリペ要塞○を見学します。〈プライア泊〉 日 日 日
9 プライアダカール(バンディア保護区)カオラック	■早朝、空路、ダカールに戻ります。着後、バンディア動物保護区へ。 ■午前、バンディア動物保護区にて動物サファリをお楽しみ下さい。キリン、シマウマ、クロサイ、インパラなど多様な動物が生息しています。また、印象的なバオバブの木々もご覧いただけます。 ■午後、セネガル第二の町カオラックへ。〈カオラック泊〉 日 日 日
10 カオラックバンジュール	■午前、国境を越え、ガンビアの首都バンジュールに向かいます。 ■着後、アーチ 22 ○など簡単なバンジュール市内観光。〈バンジュールまたは郊外泊〉 日 日 日
11 バンジュール滞在(ジュフレ村)(クンタキンテ島)	■午前、バンジュール近郊の観光へ。世界的ベストセラー小説「ルーツ」の舞台であるジュフレ村○、アルブレダ村○、かつて奴隷貿易が行われていた当時の要塞などの遺構が残る世界遺産クンタキンテ島(旧名ジェームズ島)○にご案内します。観光後、バンジュールに戻ります。〈バンジュールまたは郊外泊〉 日 日 日
12 バンジュールイスタンブール	■朝、空路、イスタンブールへ向かいます。 ■夜、イスタンブール着後、ラウンジにてご休憩下さい。 ■翌未明、空路、帰国の途へ。〈機中泊〉 日 日 日
13 東京	■夜、羽田空港着。入国、通関後、解散。



セネガル

世界遺産ゴレ島

セネガルの首都ダカールの沖合3キロに浮かぶ孤島。19世紀に奴隷貿易が廃止されるまで、欧州列強の奴隷貿易の拠点として栄えました。また、この島にはセネガル最古の石造モスクや、18世紀のカトリック聖堂も残っています。



セネガル

世界遺産サンルイ

植民地時代に計画的に整備された都市の建造物群が多数残り、植民地時代の西アフリカの様子を今に伝える貴重な歴史遺産になっています。



モーリタニア

ヌアクショット

モーリタニアの首都。中心には大モスクがそびえ、イスラム文化が色濃く息づいています。



カーボベルデ

クレオール文化

西アフリカとポルトガルが融合して生まれた独特な文化であり、言語、音楽、食文化、服装、社会構造などにその豊かな多様性が現れています。



ガンビア

アーチ 22

ガンビア首都バンジュールの町の入口に建つシンボル。

より快適な、価値ある旅のご案内

●国内線の乗り継ぎについて

- ◇大阪、名古屋、福岡、札幌などからの国内線でご出発の場合、追加料金にて手配を承ります（一部コースを除く）。料金につきましてはお問い合わせ下さい。（別途、お席の確保が必要となります。）
- ◇国内線をご利用の場合、国内線の遅延や、乗り継ぎ不可能な時、座席を確保できない時、他の交通機関を利用した時、羽田経由の場合の成田空港までの交通費、宿泊が必要となった時の費用等、ご出発とご帰国時の国内における諸費用はお客様の負担となります。

●航空機及び移動について

- ◇利用航空会社は、日本発着便を原則として表示しており、乗り継ぎを必要とする時の航空便や、旅行地を空路移動する場合の航空便は、他の航空会社となることもあります。又、日程表の空路移動表示は出発地と最終目的地のみで表示しております。
- ◇交通機関の遅延や、不通、スケジュール変更等により、目的での滞在時間の短縮や、訪問地の変更、取り止め等が生じる場合は責任を負いながら、出来る限り当初の日程内容に従った旅行サービスをお客様がお受けいただけるよう努力致します。
- ◇航空便の座席（隣合わせ、窓側、通路側等）については、ご希望に添えない場合もございます。又、座席の混み具合等によりご同伴の方でも隣り合わせのお席にならない場合もございます。
- ◇僻地や列車等での移動でポーターがいない場所では、お客様にご協力をお願いし、ご自身のお荷物をお運びいただくこともございます。

●利用航空機について（日本発着便）

- ◇ターキッシュ・エアラインズ、エチオピア航空、エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空、全日空、日本航空、タイ国際航空、シンガポール航空、マレーシア航空、キャセイ・パシフィック航空。

●日程中のマークの読み方

- ☉：朝食、☒：昼食、☒：夕食、☒：機内食、☒：食事なし
- ：入場観光、○：下車観光、△：車窓観光

●時間帯のめやす

04:00	06:00	08:00	12:00	13:00	17:00	19:00	23:00
深夜	早朝	朝	午前	昼	午後	夕刻	夜

●ご宿泊について

- ◇お一人で参加され相部屋を希望し、お相手の方が見つからなかった場合は、**一人部屋利用追加代金の半額にて、お一人部屋をご利用いただけます。**但し、ご出発日の60日前までにお申込金のお手続きを完了されたお客様に限ります。尚、相部屋の方の、禁煙・喫煙、同年代などの希望には添えません。また、お申込後「相部屋→一人部屋」へ希望を変更することは原則不可となります。

- ◇シングル・ルーム（お一人部屋）をご利用の場合、ヨーロッパスタイルのホテルでは、お部屋が狭かったり浴室の設備がシャワーのみの場合がございます。
- ◇国によっては、二人部屋のお一人での使用も承ります（別途、追加料金が必要）が、地方都市や混雑状態などによりお一人部屋になる場合もございます。また、ホテルによっては、ダブルベッドの場合もありますので、ご了承下さい。
- ◇三名様で一室をご利用の場合は、二人部屋に簡易ベッドを一つ入れた状態でご利用いただくため、お部屋が狭くなります。また、旅行代金の割引もございません。尚、旅行中の一部のホテルで簡易ベッドをご準備できない場合もございます。その場合、お一人部屋（追加料金が必要）をご利用いただくことになります。
- ◇お部屋のベッドは、二名一室を利用基準に、ベッドが二台のツインルームをご用意しますが、地方都市や、古いヨーロッパスタイルのホテルでは、二つのベッドマットが離れていないジャーマン・ツインタイプのお部屋もございます。
- ◇バスルーム（浴室）は、地方都市では、お湯の出が悪かったり、シャワーのみのお部屋となります。
- ◇ホテルの部屋割りは、ホテル側で前もって割当ており、グループやご家族旅行の場合でも、隣室や同階のお部屋をご用意できない場合もございます。又、伝統や格式あるヨーロッパのホテルでは、それなりの雰囲気や味わっていたら、設備面で機能性を欠く場合もございます。

●ビジネス・クラス利用について

- ◇お席の混雑具合により料金が変動いたしますので、早めにお問い合わせ・お申込みをおすすめいたします。
- ◇ビジネス・クラス席をご利用いただける区間は、原則として日本と最初の到着地の長距離フライトです。短距離フライトがエコノミー・クラスとなる場合もございます。また旅行サービス内容（バス、ホテル、食事等）は、航空座席クラスにかかわらずグループと同一となります。

屋食時、夕食時にドリンク・ウォーターをサービス

場所によってはガス入りとなる場合もございます。

便利なイヤホン・ガイドサービスを使用

添乗員、ガイドから離れていても説明が聞けるイヤホン・サービスを利用し、密状態を避けます。

●個人情報の取り扱いについて

- ◇弊社は旅行申込の際にご提出頂いたお申込書に記載された個人の情報に関しましては、お客様と弊社との連絡に利用させて頂く他、当該旅行の実施に関わる関係諸機関へ必要な範囲内で提供させていただきます。また、弊社の旅行商品の開発、ご案内などで利用させて頂く場合もございます。

●海外渡航関連情報について

- ◇訪問国によっては、外務省より「海外危険情報」など、渡航に関する情報が出されています。それら情報に関しては以下でご確認下さい。

■外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>

■厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/>

- 確定した航空会社の便名、ホテル名等は、ご出発日の前日迄にお渡しする確定書面でお知らせ致します。尚、お問い合わせ頂ければ手配状況についていつでもご説明申し上げます。

◇ご協力とお願い◇

団体旅行は、楽しい旅をしていただくためにお客様同士の心配りが大切です。バス移動の際の前方座席の連日の独占は避け、カメラ・ビデオの撮影マナー、喫煙マナー、食事マナーなどに気を配り、お互いに譲り合い、公序良俗を守り、気持ちよく旅ができるよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

ご旅行条件（要旨）ご旅行代金の内訳、お取消料などについて、旅行条件を十分にお読み下さい。

この旅行は株式会社旅のデザインルーム（以下当社）が企画・募集し実施する企画旅行であり、参加されるお客様は当社と企画旅行契約を締結することになります。当社は旅行日程に従ってお客様が運送・宿泊機関等の旅行に関するサービス（以下旅行サービス）の提供を受けることができるように、手配することを引き受けます。この書面は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書及び同法12条の5に定める契約書面の一部になります。旅行契約の内容・条件は別途お渡しする旅行条件書（全文）、ご出発前にお渡しする最終日程表（確定書面）によります。お申込の際は、旅行条件書（全文）をお受け取りの上、必ずご確認下さいようお願い申し上げます。

●旅行代金に含まれるもの

- ◇旅行日程に明示した運輸機関の運賃、食料料金、観光料金（バス料金・ガイド料金・入場料）、宿泊料金二名一室を基準）及び税・サービス料、海外空港諸税、スーツケース一個の運搬料金、団体行動中のチップ、添乗員付コースはその同行諸費用。以上の費用は、お客様の都合により、一部利用されなくても原則として払い戻しはいたしません。

●旅行代金に含まれないもの

- ◇上記の他は旅行代金に含まれません。その一部を例示いたします。超過手荷物料金、お一人部屋を利用される場合の追加料金、希望者のみ参加されるオプション・ツアーの料金、渡航手続関係諸費用（旅券印紙代、手続代行料金など）、日本国内の空港施設使用料・保安サービス料、国際観光旅客税、燃油サーチャージ、国内におけるご自宅からツアー集合及び解散空港間の交通費・宿泊費、クリーニング代・電報電話料金・ホテルのボーイやメイドへのチップ、日程明示外及び別途追加の飲食費、他一切の個人的性質の諸費用。

●お申し込みに際して

- ◇旅行中に特別な手配を必要とする方は、お申込みの時にその旨お申し出下さい。コースによっては、ご参加いただけない場合もございます。
- ◇特定の目的又は、特定の旅客層を対象とした旅行については、ご参加いただけない場合もございます。
- ◇他のお客様に迷惑を及ぼすおそれがあると当社が判断する方のお申込みはお断りすることとなります。

●旅行代金のお支払い

- ◇旅行代金は、出発日の21日前までにお支払い頂きます。

●取消料

旅行解除期日	旅行代金	取消料（お一人）
ピーク時の旅行（41日前までは不要） ●40日前から31日前までの取消し		旅行代金の10% (限度額5万円)
その他の期間の旅行（31日前迄不要） ●30日前から21日前迄の取消し	30万円以上	50,000円
	15万円以上 30万円未満	30,000円
	15万円未満	20,000円
以下は全ての旅行に適用 ●20日前から3日前までの取消し		旅行代金の20%
●前々日から当日		旅行代金の50%
●無連絡不参加及び旅行開始後		旅行代金の100%

- 「ピーク時」とは12/20～1/7、4/27～5/6及び7/20～8/31をいいます。

- 取消料の対象なお支払い対象旅行代金とは、旅行代金と追加代金（一人部屋利用追加代金・航空機の等級変更による差額など）の合計額です。

- 相部屋の方のお取り消しに伴う一人部屋追加代金について
◇相部屋のお相手の方（配偶者・友人も含む）がお取消された場合、結果的にお一人でお部屋を利用することになる方は、**一人部屋利用追加代金のお支払いが必要となります。**尚、その後相部屋希望者の参加があった場合は必要ありません。

●旅行条件・旅行代金の基準

- ◇この旅行条件は2025年6月16日を基準としております。また旅行代金は2025年6月16日現在有効な航空運賃・適用規則に基づいて算出しています。尚、旅行代金の変更について定めた当社約款第13条第1項から第4項の適用に関し、幅運賃制であるIIT運賃（個人包括旅行運賃）を適用した旅行は、幅の範囲内での航空運賃の増額又は減額があっても当該旅行の代金の変更は致しません。詳細については、当社の旅行業約款をご覧ください。又、当社はかかる場合でも旅行の再実施は致しません。

●旅程保証

- ◇旅行日程に重要な変更が行われた場合は、旅行業約款の規定により、その変更の内容により変更補償金をお支払い致します。

この条件に定めのない事項は当社旅行業約款によります。当社旅行業約款をご希望の方は、当社にご請求下さい。

マラリアについて

アフリカは、マラリアの発生地域と云われております。黄熱病と異なり出入国の条件にはなっていませんが旅行中は予防に努めましょう。

【マラリアとは】

ハマダラ蚊による吸血により人に感染する感染症です。ハマダラ蚊は、夕方から夜にかけて飛び始めます。マラリア危険地域では夕方以降の外出はなるべく避けましょう。

【マラリアの症状】

高熱、寒え、嘔、下痢、関節痛、頭痛、吐き気、全身の痙攣、昏睡など。放置すると死に至る可能性もあります。

【マラリアの潜伏期間】

マラリアは感染してから1週間から4週間で発病することが多いといわれています。

【マラリアの治療】

マラリアの治療で最も大切なのは早期発見、早期治療です。早期にきちんと治療すれば大抵のマラリアは数日のうちに回復します。熱帯や亜熱帯への旅行後や旅行中に高熱がでたら直ちに医療機関を受診することが大切です。

【マラリアの予防法】

マラリアに対してはまだまだ有効な予防接種がありません。一方、抗マラリア薬を服用することで予防可能ですが、抗マラリア薬の効かない耐性マラリアや副作用の問題があります。劣劣省は予防的服用を控えめと推奨しておらず、個人的な意思に任せております。最も効果的な予防法は蚊に刺されないことです。夕方以降に外出する場合は、長袖長ズボン、虫除けスプレーを塗布しましょう。また、就寝時には蚊取り線香やベープを焚くなどいでしょう。

【最新情報】

厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/> にてご確認下さい。

★特殊・秘境地域に対するご理解とお願い★

当パンフレットで扱うアフリカの国々は、まさに秘境地域です。当社はこの地域を扱い始めて約二十年になり、現地手配会社とのスムーズな関係、添乗員からの報告やお客様からのアンケートなど過去の経験をもとに、より快適なご旅行となるべく努力しております。しかしながら、ヨーロッパの国々とは違い、運送期間、宿泊設備やサービスなど、あらゆる面で何かしらの問題が発生するのが実情です。皆様のご協力、助け合いなしにはツアーが成立しないこと、ご理解下さいませよう宜しくお願い申し上げます。

- ◇航空便が、天候や航空会社の都合により予定通り運航しない場合もございます。その場合、日程、観光内容、宿泊地が現地で変更になること、お含みおき下さい。約款上、日程変更に伴う追加費用、帰国が遅れた場合の延泊費用などは、ご参加者の皆様のご負担となります。予めご承知の上、お申し込み下さいませようお願い申し上げます。